

「体罰等の根絶」 セルフ・チェックシートの活用



体罰を根絶するためには、折に触れて自分自身の指導について評価したり、学校全体で組織的に研修したりすることが大切です。セルフ・チェックシートを活用して、児童生徒理解に基づく指導「マイ・アクション・プラン」を考えてみましょう。

Check!
👉

- 1 体罰は、絶対してはならないことをしっかり自覚している。「子どものために場合によってはやむを得ない」という考えは一切ない。
- 2 軽い気持ちで叩く行為も、児童生徒の側からは、「体罰」と受け止める場合もあることを認識している。
- 3 どの児童生徒にも、叱る時間と場所のタイミングをよく考えている。
- 4 頭ごなしに決め付けず、児童生徒の言い分や意見を聞くようにしている。
- 5 指導中にもかかわらず、注意を聞く態度の悪い児童生徒に対しても、「冷静に」「感情的な指導にならないように」努めている。
- 6 児童生徒の「心の内面」を共感的に受け止めるようにしている。
- 7 日頃から、児童生徒の理解に努め、信頼関係を築いている。
- 8 同僚の体罰や暴力を傍観したり、見過ごしたりしない。
- 9 児童生徒に対するちょっとした脅しや配慮のない「言葉遣い」をしないように気を付けている。
- 10 日々の忙しさや家庭のこと等で、いらいらしている気持ちをコントロールできている。

児童生徒理解に基づく指導 マイ・アクション・プラン

「体罰等の根絶と児童生徒理解に基づく指導のガイドライン」
(H25.7山形県教育委員会)より